

<白金標準、リースレートの高止まりで下げ渋る値動き・・・>



(出所：オアシス)

銅の関税要因で 40%のリースレートが一時的に 10%を割り込む動きを見せ、1300 ドルを割り込む値動きを示すも、NY マーカントイル取引所のプラチナ在庫は 21 日現在で 523067 トロイオンス（16.2 トン）と高水準を維持し、リースレートも 17%と高水準を維持するなど依然ロンドン市場の現物不足の状況には変化が示されていない。

特に世界プラチナ投資協議会（WPIC）の 22 日のレポートでは「プラチナが持続的な市場不足状態にあるという見通しは、投資観点から極めて魅力的であり、これは現在の価格に反映されている」と指摘し「継続的な需要の強さは米国に限定されたものではなく、中国も役割を果たしており、プラチナジュエリー需要の転換点と投資商品への需要の継続的な強さが期待を上回る水準を維持しています」と付け加えている。そのため 2025 年後半に向けて更なる高値を試す可能性は秘めているが、市場規模は低水準であることから価格の乱高下には注意が必要に思える。特に白金標準先物は、高値が抑えられた値動きを続けており、目先 6000 円が維持できないと 27 日に新甫 8 月限の発会以降で高値発会に伴い修正の値動きから再度 5686 円を試す値動きに注意が必要に思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り下げながら、**シグナル**は上昇が止まり。また RCI では**短期**が下げ止まり、**長期**は切り上げている。特に週足が **10 週移動平均線**を下回るなど修正波動に備えるのが妥当に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,955,000 円(2025 年 8 月 25 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 79,200 円(2025 年 8 月 25 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>